

JA全農 **WEEKLY**

2面

令和3年 年頭のごあいさつ

JA全農 経営管理委員会 会長 菅野 幸雄

3-7面

## 新春会長対談

次世代の人材を育て  
豊かな食文化をつなぐ

ゲスト：キャスター・元バドミントン日本代表

潮田 玲子さん

8面

JAタウン 新春初夢プレゼント

**Web版JA全農ウィークリーは  
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



『JA全農ウィークリー』の  
ツイッターはこちらから



謹賀新年

# 5年後、10年後を見据え 『全力結集で挑戦し、 未来を創る』



経営管理委員会 会長

菅野 幸雄

あけましておめでとうござい  
ます。

謹んで新春のごあいさつを申  
しあげます。

令和3年の年頭にあたり、全国  
の組合員、JA、県連および関係  
の皆さまから旧年中に賜りました  
ご支援、ご協力に対し厚くお礼を  
申しあげます。

昨年も令和2年7月豪雨・台  
風10号等の自然災害や、豚熱・鳥  
インフルエンザといった家畜伝染  
病に全国各地で見舞われ、甚大な  
被害が発生しました。そして、世  
界中に感染が拡大した新型コロナ  
ウイルスは、人々の暮らしの在り  
方を変え、経済・社会、さらには  
組合員の営農や我々JAグループ  
の事業にも非常に大きな影響を与

えています。被害に遭われた皆さ  
まに心からお見舞い申しあげます  
とともに、被災地の復旧と新型コ  
ロナウイルス感染症の一刻も早い  
終息をお祈りいたします。

また、本年は未曾有の被害をも  
たらした東日本大震災と福島第一  
原子力発電所事故の発生から10年  
の節目を迎えます。しかし、いま  
だ価格が回復せず生産基盤が縮小  
している農畜産物があり、故郷に  
戻れていない方もおられるなど、  
復興は道半ばであります。

本会は「一人は万人のために、  
万人は一人のために」という協同  
組合の基本理念のもと、生産者と  
消費者を安心で結ぶ懸け橋とな  
り、国の基である農業の発展と地  
域の活性化を通じ、被災地の復興  
に貢献してまいります。

さて、本年は「全力結集で挑戦  
し、未来を創る」をキャッチフレー  
ズとした今次3か年計画（令和元  
（3年度）の最終年度であり、総  
仕上げとなる重要な年です。

5つの最重点事業施策である  
「①生産基盤の確立」「②食のトッ  
プブランドとしての地位の確立」  
「③元氣な地域社会づくりへの支

援」「④海外戦略の構築」「⑤JA  
への支援強化」を着実に実践し、  
自己改革の加速化と併せ、5年  
後、10年後を見据え、新たな事業  
領域にも果敢に挑戦してまいりま  
す。

相次ぐ災害やコロナ禍を経験  
し、食料自給率や食料安全保障へ  
の関心が高まり、本会をはじめJ  
Aグループが果たすべき役割はま  
すま重要性を増しています。

そして、日本の農業は、国内の  
人口・農業就業者の減少、スマー  
ト農業の拡大など急激な環境変化  
の中にあり、国も農畜産物の輸出  
拡大や地方の成長、脱炭素社会の  
実現を目標に掲げています。本会  
自らも変化を恐れず変わり続ける  
とともに、さまざまな企業・団体  
と広く連携し、組合員・地域JA  
にとつてなくてはならない全農と  
なり、夢が持てる農業・次代にバ  
トンが渡せる農業への転換をは  
かってまいります。

結びになりますが、本年も引き  
続きご指導とご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げますとともに、  
皆さまのご健勝とますますのご発  
展をお祈り申しあげます。



新春  
対談

# 次世代の人材を 育て豊かな 食文化をつなぐ

潮田 玲子さん

キャスター・  
元バドミントン日本代表

菅野 幸雄会長

全農経営管理委員会





## 農業とスポーツ界に 立ちをはだかった難局

**菅野幸雄会長** あけましておめでとうございます。

**潮田玲子さん** あけましておめでとうございます。本日はお招きいただきましてありがとうございます。昨年、全農の会長に就任されたと伺いましたが、会長にとって昨年はどんな1年でしたか？

**菅野会長** 7月は九州で豪雨災害がありましたので、まずは復興を最優先にしようと思われ、被災地へ視察に行きました。新型コロナウィルス対策をしながらの復興活動に皆さん苦労されていましたが、われわれとしては農家に寄り添った取り組みをしていこうと対策を練ってきた1年でした。

**潮田さん** 私は北九州出身で、親戚がおりますので、とても心配していました。

**菅野会長** 3年前にも広島や岡山、そして私の地元の愛媛など、西日本を中心に豪雨災害がありました。大きな被害があり、今はまだ完全に復

旧できていません。大切なのは、被災された農家が農業を

辞めてしまわないような復興対策を続けていくことだと思

っています。昨年はスポーツ界においても東京オリンピックが延期になるという思いが

けない1年でした。潮田さんはアスリートと会う機会が多いかと思いますが、皆さん、どんな様子でしたか？

**潮田さん** 正直、掛ける言葉がありませんでした。たかが1年されど1年ですから、人生を大きく左右するような選手もたくさんいました。ですから、「頑張れ」ではなく、「今は耐えよう」と声を掛けてきま

した。

した。

**菅野会長** 私も被災された農

家に対して同じ気持ちです。収穫を目前にして被災すると、モチベーションが保てないん

ですね。支援しますと言いな

らも、「頑張れ」という言葉をストリートには言えませんで

した。農家もアスリートもま

たく違う世界ではありますが、最後は自分自身で立ち上

がないといけないという環境は似ていますね。

**潮田さん** そうですね。農家さんをサポートするために、私たちができることは何でしょうか。やはり買って支援することでしょうか。

**菅野会長** それはもちろんあ

りがたいことですが、アスリートの皆さんには素晴らしいプ

レーを見せていただくことで、みんな元気をいただけるん

じゃないかと思えますね。

**潮田さん** それは選手にとつ

て励みになります。今、本当にスポーツをやっているいいの

かと考えている選手が多いん

です。東日本大震災のときも、こんなに日本が大変なときに

海外で試合をしていていいのかと自問自答の日々でした。けれども、コートで元気な姿を見て勇気をもらいましたとおっしゃってくださる方がたくさんいて、バドミントンを

続ける意味があると感じたのを今も覚えています。会長のお言葉も本当にありがたいです。

**菅野会長** アスリートの皆さんには前向きに頑張ってもらい、い

いですね。被災した農家も徐々に前を向いて行動するようにな

ってきています。昨年は自然災害も大変でしたが、コロナ

禍では、いろいろな問題に直面しました。最初に困ったのが

外出自粛だったんです。

**潮田さん** 私も緊急事態宣言の時期は、皆さんと同じように、家族の食事の世話に追わ

れて大変でした。

**菅野会長** 外出自粛とはいえ、米や野菜などの食料は生活必需品でしょう。誰でも食事をし



ますから、農家はいろいろな障害と闘いながら一生懸命に出荷を続けてきました。さらに、外国人の技能実習生が日本に來られなくなりましたので、人手が足りなくなり、せっかく収穫できるまでに育った野菜を収穫できずに廃棄してしまうという問題も起きました。

**潮田さん** 生産現場に大きな影響をもたらしたのでですね。私はステイホームを機に野菜のお取り寄せを始めました。毎日、新鮮な野菜が届くので今も続けています。子どもが5歳と3歳でまだ小さいんですけど、一緒に料理を作ってみたり、お花を植えたりと、大変な時期ではありましたが、子



どもたちはとても楽しそうでしたので、有意義な時間だったと感じています。

**菅野会長** そうですか。皆さん家庭ごとにさまざまな過ごし方をされていましたね。新型コロナウイルスがまん延した当初、マスク不足が起きました。これが食料不足だったらもっと大変でしょう。どんな時でも農畜産物を国民の皆さんに食べていただけるように、食料自給率を上げる取り組みをしていきたいですね。そのためには、ICT化やロボット化を進めることも全農にとって重要です。道のりは長いですが、機能や生産性がアツ

プするような農業社会をつくらうといういろいろな研究を積み重ねているところです。

### 日本食の輸出拡大を目指して

**菅野会長** 実は私も若い頃にバドミントンをやっていました。ずっと動き続けるハードなスポーツで、ものすごく苦しい思いをしました。潮田さんともなれば食事面においても大変気を使われていたのではないですか？

**潮田さん** アスリートは栄養バランスのとれた食事が基本です。試合の時期は、タンパク



出して、日本食ファンを一人でも増やしていこうと行動しているところです。輸出は、JAGグループだけではなくオールジャパンで取り組んでいけば、あと数年で海外のスーパーなどでもさまざまな日本食を買えるようになるでしょう。

**潮田さん** それは選手が喜びます。コンディションを保つという意味では、大舞台になればなるほど普段通りの生活が求められるので、選手にとって食事はすごく大事なことです。世界中のどの国でもおいしい日本食が食べられるようになれば、海外遠征も安心です。

### 次世代の人材育成に必要なのは成功体験

**菅野会長** 農業でもスポーツでも、人を育成することが大事だと思えますが、いま、若い選手たちを見ていて、どのように感じますか？

**潮田さん** 今の若い選手たちのほとんどが、早い段階からオリンピックでメダルをとることを目標にしています。私自身オリンピックを目指すよ





うになったのは高校生の時でしたから、遅い方なんです。

**菅野会長** 若い選手がオリンピックのメダルを目指すのは、そういう舞台をつくってみせた『オグシオ』ペアの存在があったからでしょう。全日本チャンピオンになって、オリンピックに出場して、というストーリーを見てきた若い人たちが、私もオリンピックに行けるんじゃないかという可能性を見いだしたはずです。『オグシオ』ペアが日本にバドミントンを広めた先駆者だと思っています。

**潮田さん** ありがとうございます

ます。期待されてきた分、それに応えないといけないと責任や義務のように感じていました。当時は試合に勝つと、うれしさよりも負けなくてホッとしたという気持ちのほうが大きかったですね。一番辛かったのは、北京オリンピックでメダルが取れなかったことです。国民の皆さまの気持ちを裏切ってしまったと、ふさぎ込んでしまいました。自分に対してもメダリストになれなかったことにコンプレックスを感じ

じていました。でも、引退して8年たつてようやく、メダルを目指して頑張ってきた自分をちゃんと評価してあげようと思えるようになりました。

**菅野会長** そうでしたか。時間をかけて克服されたのですね。われわれ全農は農業の労働力不足の問題を克服しようと取り組んでいます。たとえば、愛媛県のJAと全農が協力して、ミカンづくりをやってみたい人たちを募集しています。農家から土地を借りて研修をして、さまざまな技術を習得しても

らい、農業所得で暮らせるような環境づくりを応援しています。そうした拠点を増やしていけば後継者ができ、労働力不足も解消できます。

**潮田さん** 全農も後継者の育成に力を入れているんですね。私も子どもたちにバドミントンの楽しさ、面白さを伝えるための活動をしています。人に教えたり伝えたりするのは、生半可な気持ちではできませんが、自分の義務だと思っています。子どもたちには、できなかったことができるようになる、そういう成功体験をたくさん感じてほしいなと思っています。

**菅野会長** それは農業にも通じる部分があります。農業のノウハウを口だけで教えるのは難しいので、しっかりと体験し、経験を積んでいただくしかないんです。農家さんは選手ですから、みんながメダリストになつてほしいですね。

### 食育につながる 過程の経験

**潮田さん** 実は、うちの子

ちにいつか農業の体験をさせたいと思っています。私が子どもの頃は裏山で遊んだりしていました。都会に住んでいると、あえてそういう場所へ行かなければ土に触れる機会がありません。週末だけでも農作物を育てられれば、子どもの食育につながるのではと思っています。

**菅野会長** 私もキウイフルーツを作っていて一番面白いのは、収穫までの過程です。芽が出て花が咲いて、授粉をして、小さい実がついて、それが1週間後、1カ月後と、だんだん大きくなっていくんですね。その過程に面白さや楽しさを見いだせられれば、喜びにつながります。農業もスポーツも、いろんな過程を経ているからこそ、おいしい実となり、結果が出るんですね。そういう経験は、子どもさんにとつてすごくいいことなんじゃないでしょうか。

**潮田さん** そうですね。うちのベランダにブルーベリーの鉢植えがあって、毎年実をつけてくれて、酸っぱいんですけど子どもたちが喜んで食べ

るんです。まさに会長がおっしゃったように、花が咲いて実をつける過程をみるのが喜びにつながっているように思いますね。

### 次なる目標に向けて

**菅野会長** 今年<sup>し</sup>は丑年ですが、私自身の干支が丑年なので、牛のように大地を踏みしめて、一歩一歩前進していきたいですね。農業で生活できる方を一人でも多く増やして、まずは日本国内の食に関する安全保障をしっかりと進めていきます。そして、海外へ日本の食材や食文化

を輸出していつて、農家が農業で安定して生活できるように歩みを進めていきたいと思えます。潮田さんには、ゆくゆくは世界で活躍されるアスリートを育成していただきたいと思っていますのですが、潮田さんの今年の目標は何ですか？

**潮田さん** はい、オリンピックが無事に開催されれば、選手たちの頑張っている姿をたくさんの人たちに伝えられる1年になればいいですね。昨年は新型コロナウイルスを通して、食の見直しをはじめ、生活スタイルを見つめ直した時期でした。毎日の食事は、できる

だけ自分で手作りしたいと思えますし、日々の暮らしを大切にしたいと感じるようになりました。今まで慌ただしく時が流れていたように思いますので、これからは一つ一つ丁寧な生活を心掛けることを目標にしていきたいです。そしていつか、子どもたちと一緒に農業にチャレンジしたいなと思っています。

**菅野会長** その際は、お手伝いさせていただきますよ。今日は楽しい時間をありがとうございました。  
**潮田さん** こちらこそありがとうございました。

### ゲストプロフィール

**しおた・れいこ** 1983年、福岡県生まれ。幼い時からバドミントンを始め、小学生の時に全国小学生大会女子シングルスで全国3位入賞。中学校3年の時には全国中学生大会女子シングルスで初めて全国大会優勝。その後、女子ダブルスで小椋久美子さんとコンビを組んだ“オグシオ”ペアで女子ダブルス 全日本総合選手権大会で2004年から5年連続優勝、2008年には女子ダブルスで北京オリンピックに出場し、5位入賞。2009年からは、池田信太郎さんとのコンビ“イケシオ”ペアで全日本社会人大会優勝、全日本総合選手権大会優勝。2012年、混合ダブルスでロンドンオリンピックに出場し、同年9月に現役を引退。2014年から、(公財)日本バドミントン協会 広報委員を務めている。



## 潮田玲子さんから お年玉プレゼント

5  
名様

潮田玲子さん直筆のサインシャトルを5名様にプレゼントいたします。  
ご応募をお待ちしております。

**応募方法** 件名に「潮田玲子さんお年玉プレゼント」、本文に郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、JA全農ウィークリーの感想をご記入の上、メールにてご応募ください。

**応募先** ☒JA全農ウィークリー  
zz\_zk\_zennohweekly@zennoh.or.jp

**締め切り** 令和3年1月15日(金)23時59分

※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。





**JAタウン**

# 新春初夢 プレゼント

全国から一押しの逸品を取りそろえました。  
ふるってご応募ください。

和歌山発!! ふるさとの便り  
(和歌山県農業協同組合連合会)

**JOINうめ&りんご  
(果汁20%)**

10名様

330ml紙パック×12本入...2800円

和歌山の紀州南高梅と青森県産りんごがコラボした果汁20%のスッキリサッパリ味のドリンクです。当店では和歌山県内で有名なドリンクのJOINジュースを出品しています。4~8月にかけては「みかん100%ジュース」などのおススメ商品もそろいますので、ぜひ、一度その時期にもJAタウンへご来店ください。



新鮮大好き徳島(徳島県本部)

**【無洗米】徳島県産米あきさかり**

令和2年産 5kg...3420円

徳島県の奨励品種「あきさかり」は、モチモチとした粘りと程よい甘みが特長の、県内で生産拡大が進んでいるお米です。2020年9月から販売を開始した「無洗米 徳島県産あきさかり」は、徳島県本部のパールライスセンター(精米工場)で無洗米加工をしているため、研がずに炊けます。簡単便利なお米、研ぎ水が出ないので環境にも優しい「無洗米 徳島県産あきさかり」をぜひご賞味ください。

3名様



越前わかさ味浪漫

**いちほまれ  
甘酒詰合せ**

3名様

350ml×3本入...2268円

福井県の新ブランド米「いちほまれ」を100%使って作られた甘酒です。砂糖は使わず米麹だけで作った「あらごしタイプ」なので麹のつぶつぶ感をお楽しみいただけます。とても甘くて濃厚な味で、「いちほまれ」本来のおいしさがしっかり引き出されています。温めても、冷やしてもそのまま味わえるストレートタイプなので、お料理やお菓子作りの材料にもぴったりです。ノンアルコールで、お子さまにも安心して召し上がりがいただけます。



全農とっとりアグリマーケット(鳥取県本部)

**鳥取県産米「星空舞」**

令和2年産 約5kg...3500円

全国星空継続観察(環境省)で何度も日本一に輝いた鳥取県はどの市町村からも天の川が見え、夜空を見上げれば星に手が届きそう。そんな鳥取県の澄み切った空気と豊かな自然から生まれた、星のように輝くお米「星空舞」。その特長は際立つツヤと透きとおる甘み。ご飯のツヤが際立つ美しい炊き上がりで粒感があり、はね返る食感があります。冷めても食感が変わらずおいしい新品種のお米です。

3名様



小さなYAMAGATAマルシェ  
(JA全農山形)

**"ぶーみん"  
「豚肉モモ  
しゃぶしゃぶ用」**

5名様

300g...2500円

お米と麦の配合飼料を使って大切に育てられた「ぶーみん」。あっさりとした甘みのある脂肪と、やわらかく味わいのある赤身に仕上がっています。「ぶーみん」とは「みんなのぶた」という意味で、みんなが愛情を込めて育てた豚、みんなが「おいしい!」と笑顔になる豚肉です。



おきなわ ちゅら島(JAおきなわ)

**沖縄黒糖&  
蒟蒻ゼリーセット**

10品...2530円

沖縄県特産品「黒糖」とJAおきなわ加工品シリーズ「蒟蒻ゼリー」をぎゅっと詰めたセットです。沖縄県産サトウキビのみを原料に、ザクザクとした歯応えが楽しめる黒糖はお茶請けにピッタリ。沖縄県産「シークワサー」、「アセロラ」、「パイナップル」、「タンカン」、「カープチャー」の果汁を使用した各種蒟蒻ゼリーはぷるぷる食感でトロピカルな味わいです。ご家族で南国気分をご賞味ください。

3名様



JA全農おおい

**やさしいかぼすハイボール**

340ml×24本...3500円

大分県産かぼす果汁を使用した、ほんのり甘くふんわりほろ酸っぱいハイボール(リキュール)です。アルコール度数4%、糖類ゼロ、ブリン体ゼロ、さっぱりとした味わいが、揚げ物をはじめいろいろな食事に合う逸品となっています。



5名様

## 応募方法

件名に「JAタウン新春プレゼント」、本文に郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、ご希望の商品名、JA全農ウィークリーの感想をご記入の上、メールにてご応募ください。

## 締め切り

令和3年1月15日(金) 23時59分

※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

## 応募先

JA全農ウィークリー [mail] zz\_zk\_zennohweekly@zennoh.or.jp

JA全農のインターネット  
ショッピングモール

▶JAタウンはこちらから  
<https://www.ja-town.com>  
▶お問い合わせは ☑ [shop@ja-town1.com](mailto:shop@ja-town1.com)